

鉄鋼技術関連文書の日英機械翻訳サービスのお知らせ

日本鉄鋼協会では、協会会員の重要な業務の一つである鉄鋼技術文書の日英翻訳を支援するため、機械翻訳サービスを開始いたします。多数の会員の皆様にご利用いただき、あわせて機械翻訳システムの一層の充実にご協力ください。

鉄鋼技術用語辞書搭載機械翻訳システム

機械翻訳は対象分野を特定し、ある程度の手作業を併用するなどの利用条件を限定すれば、実際の業務に利用できるレベルに至っています。また動作環境としてワークステーションが使用でき、比較的容易に利用できる段階に来ています。このような状況を踏まえて、鉄鋼協会では会員へのサービスの可能性と課題を調査するため、1990年よりほぼ3年間にわたり機械翻訳検討小委員会を設け、鉄鋼技術文書の日英機械翻訳の実用性について調査しました。あわせて「鉄鋼便覧」索引に収録された約5000語句の機械翻訳用辞書登録作業も進めました。

その調査において、現在市販されている機械翻訳システムの中で、本会の目的には富士通ATLASシステムが最適であると結論を得ました。同システムにおいて、一文の長さ50字以内の正確に書かれた日本語の技術文書については、約80%程度の文は正しく日英翻訳できる結果が得られています。これらの調査と鉄鋼専用辞書構築結果にもとづき、機械翻訳検討小委員会からは、適切な運営体制のもとで、協会会員に対して技術文書の翻訳サービス提供が可能であるとの答申をいただきました。

機械翻訳サービス提供の形態

上の答申を受けて、鉄鋼協会編集委員会の下に設置した機械翻訳推進分科会のもとで、機械翻訳システムとして富士通(株)のATLASシステム、日英翻訳サービス実施機関として(株)日鉄技術情報センターからなる事業推進体制を整備し、会員サービスを実施します。サービス形態は、利用者が本翻訳システム改善と鉄鋼用語辞書登録にご協力いただくことを条件として、当面下記の二通りと致します。

- (1) 協会会員が、富士通ATLASシステム(ソフトウェアのみ、あるいはハードウェアとソフトウェア組み合わせ)の購入を希望する場合に、特別頒価の設定および鉄鋼辞書の無償提供を行います。
- (2) 協会会員が技術文書の日英機械翻訳を希望する場合に、日鉄技術情報センターにおいて、割引価格にて翻訳サービスを提供します。

これらの具体的サービス提供内容は、「鉄と鋼」誌上、(1)については次号(5月号)、(2)は次々号(6月号)の会告にて逐次お知らせします。また「機械翻訳利用の手引き」を準備しています。

今後の機械翻訳事業推進への協力をお願い

本システムは一応の実用に耐えるレベルには到達しておりますが、100%ご満足いただける翻訳文書を提供できるまでには完成されておられません。当面は協会会員の翻訳作業を少なくとも半減できることを目的としております。今後、機械翻訳の質の一層の向上には、鉄鋼技術用語辞書の拡充そして論文など技術文書翻訳への適応性向上が課題です。そのため、上記のサービスを受けられた会員は、利用結果にもとづき必要な用語辞書登録や翻訳システム改善への提言をお願いすることいたします。

本会では編集委員会機械翻訳推進分科会において、それらの提言を検討し、定期的に専門用語辞書改訂と翻訳システム改善を進め、より良質で高度な翻訳サービスを提供できるよう努力を続けることにしています。

会員の皆様、本会への投稿原稿、本会主催の国際会議論文作成をはじめ、各種技術文書の翻訳にご利用いただくことを希望します。とくに本システムを活用いただき、講演大会発表論文あるいは「鉄と鋼」投稿論文を積極的に英文化して、本会欧文会誌 "ISIJ International" へ投稿されますようお願いいたします。

問い合わせ先：日本鉄鋼協会 編集・業務室 下川、中村 (電話：03-3279-6021)